

向島秀蓮だより

～変える・変わる・そして輝く…～

《学校教育目標》 一人一人の人間性を高め、未来を拓く力の育成

令和3年度 後期学校評価号
京都市立向島秀蓮小中学校
校長 上野 政弘

後期の学校評価アンケートにご協力下さいましてありがとうございました。

今年度からMicrosoft Formsによるアンケート方式を採用させていただき、今回が2回目の実施となりました。保護者の皆様には、1回目を上回るたくさんの方々にご回答をいただき、インターネットを用いたアンケート集計の趣旨をご理解いただけたこと誠にうれしく思います。ご協力ありがとうございました。表面には、保護者の皆様のアンケートの集計（前期と後期の結果）とその結果を受けての考察を掲載しています。裏面には、生徒への後期アンケート集計、結果を受けての考察を掲載しています。

【学校評価アンケート 保護者版結果】

質問1. 総括考査や単元テストは家庭学習への動機づけとして効果がありますか。

	前期	後期
1. 家庭学習の動機づけとして十分効果がある	35%	27%
2. 家庭学習の動機づけとしてある程度効果がある	45%	51%
3. 家庭学習の動機づけとしての効果はあまりない	14%	17%
4. 家庭学習の動機づけとしての効果はない	6%	5%

質問2. 総括考査や単元テストにむけ、保護者として子どもにどのように関わっておられますか。

	前期	後期
1. 可能であれば子どもとともに学習している	20%	19%
2. 子どもに学習への声かけをするようにしている	53%	53%
3. テスト前は子どもが学習に集中できるよう配慮している	10%	12%
4. 特に何もしていない	17%	16%

質問3. 地域とのつながりを重視した学習が展開されていますか。

	前期	後期
1. 地域とのつながりを重視した学習が展開されている	17%	15%
2. 地域とつながる学習が一定展開されている	56%	57%
3. 地域とつながる学習が十分展開されていない	14%	15%
4. 地域とのつながりを図る学習が展開されていない	13%	13%

質問4. (4年生以上のお子様がいる保護者の方にお聞きします。)
GIGA端末は、家庭学習のツールとして効果のあるものになっていますか。

	前期	後期
1. 十分効果がある	19%	16%
2. ある程度効果がある	56%	54%
3. 効果はあまりない	16%	22%
4. 効果はない	9%	8%

質問5. (5年生以上のお子様がいる保護者の方にお聞きします。)
一般的に中学校から実施される教科担任制を、本校では5年生以上で導入していますが、その効果はあると思いますか。

	前期	後期
1. 十分効果がある	30%	25%
2. ある程度効果がある	58%	59%
3. 効果はあまりない	10%	12%
4. 効果はない	2%	4%

質問6. 学校だよりやホームページ等により、学校の様子や情報が伝わってきていますか。

	前期	後期
1. 十分伝わってきている	35%	23%
2. ある程度伝わってきている	56%	66%
3. あまり伝わってきていません	8%	10%
4. 伝わっていない	1%	1%

質問7. 本校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思いますか。

	前期	後期
1. 十分生かしている	26%	19%
2. ある程度生かしている	59%	60%
3. あまり生かしていない	11%	17%
4. 生かしていない	4%	4%

質問8. 縦割り学習や異学年交流(清掃活動・宿泊学習)といった本校独自の取り組みは生徒の成長に効果があるものとなっていますか。

	前期	後期
1. 十分効果がある	37%	32%
2. ある程度効果がある	54%	60%
3. 効果はあまりない	7%	7%
4. 効果はない	2%	1%

質問9. 子どもにとって、学校は安心して過ごせる場所だと思いますか。

	前期	後期
1. 十分安心できる場所である	33%	31%
2. おおむね安心できる場所である	62%	64%
3. あまり安心できる場所ではない	4%	4%
4. 安心できる場所ではない	1%	1%

質問10. 担任は必要に応じて保護者との連携を図っていますか。

	前期	後期
1. 十分図れている	38%	34%
2. おおむね図れている	55%	60%
3. 図れているとはいえない	6%	5%
4. 連携が図っていない	1%	1%

質問11. 本校は生徒一人一人に丁寧に寄り添っていると感じますか。

	前期	後期
1. 十分寄り添っている	30%	26%
2. おおむね寄り添っている	58%	64%
3. 寄り添っているとはいえない	10%	9%
4. 寄り添っていない	2%	1%

<アンケートの結果より>

後期学校評価アンケート（保護者版）では、前期と同じ質問をさせていただき、結果を基に比較検討し今後の教育活動に活かしていきたいと思います。

・<質問4>では、GIGA端末についてお尋ねしました。校内では2学期以降もさらに学習での活用の方法を模索してきました。また、登校できない時のオンライン配信授業や学級閉鎖時のGIGA端末の活用など、学校と家庭がインターネットを通してつながることは全学年で確認・実施することができました。今後は、ご意見をいただきましたように、家庭学習のツールとして、どのような課題が設定できるか、学びの有効なツールにしていくためにはどうすればよいのか検討・実施していく予定です。

・<質問8>では、本校独自の取組である、縦割り学習・異学年交流についてお尋ねましたが、コロナ禍の状況でできることが限られている中、90%以上の方に効果があるとご回答いただきました。今後も、校内で工夫して取り組んでいることが子どもたちの成長につながると信じ、進めていきたいと思います。

・<質問11>では、本校の生徒一人一人に対する関わり方にについてお尋ねしました。前期以上に「十分・おおむね」寄り添っているとご回答いただいたこと、教職員一同真摯に受け止め、励みにし、より一層丁寧に関わっていきたいと思います。

どの質問におきましても、前期アンケートと同様に多くの保護者の皆様に「十分～、おおむね～」の項目を選択していただき、後期の本校の取組にご理解をいただけておりますこと、とてもうれしく思います。来年度以降も学校・家庭・地域のつながりを大切にした教育活動を展開していくので、さらなるご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

◎後期 生徒アンケート集計結果

後期 ベーシック		実現度(ベーシックステージ)				後期 チーム ビジョン		実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)				
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない			よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない	
① 1. 「確かな学力」の育成について	学校では、たのしくがくしゅうしている。	66%	31%	3%	0%	1. 「確かな学力」の育成について		授業では、その単元で学ぶことが自分たちの生活とどのようにつながっているのか意識して学習を進めている。				26%	57%	16%	1%	
	じゅぎょうちゅうに、自分のかんがえをもつことができている。(思考力)	49%	42%	9%	1%	授業中に、自分の考えをもつことができている。(思考力)		41%				28%	60%	10%	2%	
	じゅぎょうちゅうに、ともだちのいんと自分のいんをくらべることができている。(思考力)	42%	38%	18%	1%	授業中に、友だちの意見と自分の意見を比べることができている。(思考力)		31%				28%	56%	16%	1%	
	じゅぎょうちゅうに、自分のかんがえをせつめいできている。(発信力)	38%	36%	22%	4%	授業中に、自分の考えを説明している。(発信力)		22%				14%	45%	33%	8%	
	じゅぎょうちゅうに、もくべきやばめんにあわせてじぶんのかんがえがつたわるようになつめいでいる。(発信力)	36%	43%	18%	4%	授業中に、目的や場面にあわせて自分の考えが伝わるように説明している。(発信力)		19%				16%	46%	36%	3%	
	じゅぎょうちゅうに、自分のかんがえを友だちとつたえあっている。(コミュニケーション力)	52%	34%	11%	3%	授業中に、自分の考えを友だちと伝え合っている。(コミュニケーション力)		44%				38%	49%	11%	2%	
	じゅぎょうちゅうに、友だちといっしょにもんだいをかいつけしている。(コミュニケーション力)	53%	33%	12%	2%	授業中に、友だちといっしょに問題を解決している。(コミュニケーション力)		36%				34%	58%	6%	2%	
	しつぱいをおそれずにたくさんのことにつらじでいる(折れない力)	54%	35%	8%	3%	失敗をおそれずにたくさんのことにつらじでいる(折れない力)		26%				13%	49%	35%	3%	
	だれにでもおもしりやのこころをもってすごしている(多様性を受容する力)	60%	32%	7%	1%	だれにでも思いやりの心をもって過ごしている(多様性を受容する力)		46%				34%	61%	4%	0%	
	じぶんをふりかえてよりよくしようとしている(自律的活動力)	49%	39%	12%	0%	自分をふりかえてよりよくしようとしている(自律的活動力)		32%				24%	59%	16%	1%	
② 2. 「豊かな心」の育成について	そうかつこうさやたんげんテストにむけて、いえでべんきょうしている。	45%	32%	16%	7%	総括考査や単元テストにむけて、家庭学習を進めるようにしている。		29%				30%	48%	18%	4%	
	どうこうしたあとやじゅぎょうの中のみじかいかんに、GIGAたんまつをつかつている。(デジタルドリルやロイロノート、おえかきなど)	54%	36%	8%	1%	登校後や授業の中での短時間を利用し、GIGA端末を使いデジタルドリルなどに取り組んでいる。		22%				8%	31%	40%	21%	
	れんかタイムやせいかつかなどで、ちいきとのつながりをいたせつにしたがくしゅうをすすめられている。	50%	29%	16%	4%	蓮花タイムなどで、地域とのつながりを大切にした学習を進められている。		52%				19%	67%	10%	4%	
	5年生以上の教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている。					5年生以上の教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている。		59%				40%	52%	6%	1%	
	英語の授業では、場面に応じた内容を自分で考えて話している。					英語の授業では、場面に応じた内容を自分で考えて話している。		31%				13%	58%	25%	4%	
③ 3. 「健やかな体」の育成について	2. 「豊かな心」の育成について	実現度(チームステージ)				2. 「豊かな心」の育成について		実現度(ビジョンステージ)				実現度(チームステージ)				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない			よく出来ている				よく出来ている					
	たのしく学校せいかつをおくっている。	82%	13%	3%	1%	楽しく学校生活を送っている。		74%				56%	38%	4%	1%	
	友だちときよりよくすることをいたせつにしている。	74%	23%	3%	1%	友だちと協力することを大切にしている。		71%				56%	38%	5%	1%	
	ほかのがくねんの人とのつながりをいたせつにしている。(たてわりかつどうやピアセイいそなど)	65%	27%	6%	2%	他の学年の人とのつながりを大切にしている。(たてわり活動、ピア清掃など)		54%				23%	55%	18%	4%	
	学校のぎょうじやとりくみは、しょうちゅういつかんぎむきょういくがっこうのよいところをさせているとおもう	60%	31%	7%	2%	学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。		55%				33%	50%	13%	4%	
	自分がいの人のをいたせつにし、みんなのこせいをみとめようとしている。	65%	28%	6%	1%	自分が以外の人のを大切にし、それぞれの個性を認めるようとしている。		60%				44%	54%	2%	1%	
	「こころか」では、テーマにそつてじぶんのかんがえをはつようしたり、ともだちのかんがえをきいたりしている。	63%	28%	8%	2%	「こころ科」ではテーマに対して自分の考えをもち、友だちと交流することができている。		57%				34%	56%	6%	3%	
	3. 「健やかな体」の育成について	実現度(ビジョンステージ)				3. 「健やかな体」の育成について		実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)				
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない			よく出来ている				よく出来ている					
④ 4. 家庭・学校・地域との連携について	ごご9じまでにねるよう心がけている	35%	31%	21%	12%	午後10時(TS)、11時(VS)までに寝るように心がけている。		28%				12%	20%	31%	38%	
	学校にいく日は、あさ7じまでにおきている。	61%	25%	10%	3%	学校に行く日は、朝7時までに起きている。		58%				30%	24%	20%	26%	
	まいにちかならず、あさごはんをたべている。	82%	13%	4%	2%	毎日必ず、朝ご飯を食べている。		73%				62%	22%	9%	6%	
	いえや学校でからだをうごかしたり、うんどうをしている。	66%	23%	9%	2%	家や学校で意識して体を動かしたり、運動をしたりしている。		52%				38%	34%	22%	7%	
	いえでは、じぶんのからだのせいちようひつようなえいようやりようをたべることができる。	67%	24%	7%	2%	家の食事において、自分の体の成長に必要な栄養や分量を取ることができている。		53%				38%	56%	6%	1%	
実現度(ベーシックステージ)		実現度(チームステージ)				4. 家庭・学校・地域との連携について		実現度(ビジョンステージ)				実現度(チームステージ)				
		よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来てない			よく出来ている				よく出来ている				
		学校からくばられるプリントをおうちの人みせている。	67%	25%	7%	1%	学校から配られるプリントをおうちの人見せている。		53%				42%	38%	18%	3%
		ちいきの人や、みまもりたいの人に、げんきよくあいさつしている。	69%	21%	7%	3%	地域の方や、見守り隊の方に、元気よくあいさつしている。		42%				23%	46%	25%	6%
		学校のせんせいは、じぶんのはなしをきいてくれる。	80%	16%	3%	0%	学校の先生は、自分の話を聞いてくれる。		65%				40%	54%	4%	3%
		どんなおとなになりたいかを、いえの人とはなしている。	56%	23%	11%	9%	どんな大人になりたいかを、家の人と話している。		36%				21%	41%	24%	14%

アンケートへのご協力、
本当にありがとうございました。
来年度もよろしくお願い致します。

アンケートの結果を受けて

1. 「確かな学力」の育成について

①に関して、どのステージの生徒も「自分の考えを伝える」「友だちと一緒に問題を解決する」(コミュニケーション力) ことに高い意識をもって授業に取り組んでいることがいることが分かります。今後も友だちとの交流を通して自らの深い学びにつなげていければと思います。

②の結果からは、チーム・ビジョンステージで GIGA 端末の活用が進んでいないように見えますが、実際はデジタルドリルだけではなく、ロイロノートや Web 検索など授業での活用は多岐にわたって展開しています。個別最適な学びを深めるだけではなく、協働的な学びを深めるツールとしても GIGA 端末を活用していけるように取り組んでいきます。また、どの学年でもオンライン配信でご家庭とつながるようになりました。ご協力ありがとうございます。コロナ禍の中、あらゆる状況に対応できるように学校と家庭がオンラインでつながるだけではなく、家庭での GIGA 端末の活用方法も模索していきたいと思います。